

日頃の立中での生活だけでは味わえないものに触れるとともに、自分の将来について少しでも考える体験になればと考えています。



6 体験学習（職場体験・福祉体験）

3日間学校を離れ、3年生は自ら事業所等にお願ひし職場体験を実施。2年生は福祉施設での体験を実施しています。

特に3年生は、担任の先生からオリエンテーションを受けた後、自分が行きたい職場を決めて、職員室から職場にお願ひの電話をすところから始まります。電話での対応を聞いていると緊張感たっぷりで、相手側に自分の意を伝える姿は本当に微笑ましく、そして生徒の成長を感じます。

3日間では、仕事のすべてを体験することはできませんが、お客さんへの対応や商品の扱いなど仕事のきびしさを少しでも感じ取れる実習になっています。中には、自衛隊や海上保安庁など日頃目につきにくい職場の体験を希望する生徒もおり、本当に多種多様な職場に出かけていきます。

2年生は、福祉施設への体験をしています。介護施設や障がい者施設など入居者への対応は、相手の気持ちを考えた対応をする必要があります、中学生にとっては厳しいと思われませんが、生徒は施設の職員の方々にいろいろと手ほどきを受け、入居者への気づかいをしながら体験をしています。中には、得意な三味線を披露する生徒もいて入居者から喝采を受ける生徒もいました。

なお、こうした職場体験や福祉体験は平成11年度ごろからキャリア教育の推進により、全国の中学校で実施されるようになりました。立江中学校はこのような取り組みを早くから実施し、体系的に系統的にまとまっていることから、いろいろな場で実践報告をしてきました。教育現場から多くの賞賛を得、平成19年11月に文部科学大臣より表彰状をいただいております。

なお、1年生は農業体験ということで、学校裏の畑を借り受けスイカの栽培や野菜作りをしています。また、

